

「これが反比例か」 きまりを発見する楽しさや驚きのある授業

第6学年2組 算数科学習指導案

指導者 平島 和弥

1. 単元名 「比例と反比例」

2. 単元について

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領第6学年の2内容C「変化と関係」(1)に示された指導事項である。伴って変わる二つの数量に着目し、目的に応じて表や式、グラフを用いて表現したり、活用したりすることを指導するために設定された単元である。

第4学年「変わり方」で表、式、グラフを使って、伴って変わる2つの数量の関係を考察する学習を行っている。第5学年では、「比例」で比例を定義し、「面積」の小単元「面積と比例」、「円と正多角形」の小単元「円周と比例」で活用している。また、「変わり方」では伴って変わる2つの数量の関係を表と式で表す学習を行っている。

本単元では、比例・反比例の関係について表を縦や横に見て、増減の仕方のきまりについて気付いたり、式に表したりすることを通して、関数的な見方、考え方を働かせて比較・考察し、子どもたちの思考力や表現力を高めることをねらいとしている。

【教材の系統】

学年	単元名	学習内容	新しく学習すること<用語・記号>
4	折れ線グラフ	- 折れ線グラフのよみ方、かき方 - 棒グラフと複合した折れ線グラフ 2つの折れ線グラフの比較 - 適切なグラフを選択すること	- 線の傾きが変わり方の大小を決めること - 目盛りの一部分を省略すること <折れ線グラフ, _____>
4	変わり方	- 伴って変わる2量の関係を表に表して考察する - 伴って変わる2量の関係を式に表して考察する - 伴って変わる2量の関係をグラフに表して考察する	- 表のかき方 - 表から見つけたきまりを式に表すこと<◎, □, △>
5	比例	- 比例の概念 - 高さと同体積, 高さと同面積, 直径と同円周, 時間と同道のりの関係	表から比例関係の有無を見出すこと<比例>
5	変わり方	- 伴って変わる2量の関係を表や式を用いて表す - 数量間の変化や対応の特徴を考察する	伴って変わる2つの数量の関係を◎と△を使って式や表に表すこと
6	文字と式	$x \times 6$, $x \times 6 = y$ など	変化や関係を表す式<a, b, x, y>
6	比例と反比例	- 比例, 反比例の概念 - 比例する2量の関係(商一定), 比例の式 - 反比例する2量の関係(積一定), 反比例の式 - 比例, 反比例のグラフ	- 伴って変わる2つの数量をみつけ変わり方を比較すること, 比例, 反比例の意味<比例, 反比例> - 比例, 反比例の性質
中学1	関数 比例, 反比例	- 関数関係の比例の意味 - 比例, 反比例について - 座標の意味	伴って変わる2つの数量を取り出し, 関数関係の意味 <関数, 変数, 変域, 比例定数>

(2) 子どもの実態 (33名)

【実態調査】令和3年7月20日実施

実態調査問題と正答率		実態調査の分析と考察			
1. 算数の授業ではどんな時が楽しいと思いますか。		・算数の授業において楽しさを感じる場面は、自分で問題を解決できた時が最も多かった。問題を解ければ満足してしまっている子もいるの可能性もあると思われる。			
・自分の力で問題が解けた時・・・73% (24名)		・授業の中で仲間と磨き合う、深め合う経験をたくさんさせていく必要がある。			
・学習したことを使い問題を解いている時・・・36% (12名)		・相談タイムや広げ深める場面に楽しさを感じている子どもは多くない。みんなで考えるよさや面白さを感じさせていきたい。			
・相談タイムで、自分の考えを友達がわかってくれた時・・・30% (10名)					
・自分の力で問題に取り組んでいる時・・・30% (10名)					
・相談タイムで友達の考えを聞いてわかった時・・・18% (6名)					
・黒板に書いてあることや友達の発表でよかったところを、ノートにまとめている時・・・15% (5名)					
・みんなの前で、手を挙げたり発表できたりした時・・・9% (3名)					
・今日はどんな問題かを見た時・・・9% (3名)					
・相談タイムで自分の考えを伝えている時・・・9% (3名)					
・相談タイムで友達に教えてもらった時…9% (3名)					
2. 算数の時間に手を挙げたり、発表したりしますか。		・「はい」と答えた子どもは、約6割、「いいえ」と答えた子どもは約4割である。さらに多くの子どもが発言できるようにしていきたい。			
☆はい・・・55% (18名)		・「いいえ」と答えた子の内訳では、「答えはわかるが自信がない」が最も多い。普段の授業の様子からも、とりあえず答えは出せたものの、その答えになる根拠を言えない子が多い。			
・わかりやすく説明をしようとしている・・・45% (15名)		・根拠を言えない子が多いので、何を根拠に発言したらよいのかというよいモデルを示したり、よい発表ができたことを価値づけたりすることを繰り返していく必要がある。			
・大きな声で話している・・・33% (11名)					
・友達の発表を聞いて、自分の意見との違いを見つけようとする・・・27% (9名)					
☆いいえ・・・45% (15名)					
・答えはわかるが自信がない・・・39% (13名)					
・答えがわからない・・・15% (5名)					
・発表するのが恥ずかしい・・・9% (3名)					
3. 既習事項の確認		・ほとんどの児童が「一方が2倍、3倍、…、になると他方も2倍、3倍、…、になる」と比例関係はとらえられている。			
(1) 次の表のあいているところに、あてはまる数をかきましょう。		・一つ前の道のり×時間と考え、誤答している子が1名、4分の時のみ「360」と誤答している子がいた。個別に声かけ、助言をして支援する必要がある。			
分速80mで歩く人の、歩いた時間と道のりの関係					
時 間 (分)	1	2	3	4	5
道のり (m)					
正答率 94% (31名)					
(2) 次のことがらのxとyの関係を式にあらわしましょう。		・①②ではほとんどの子が理解することができている。①ではかける数とかけられる数が反対になってしまった「 $x \times 30 = y$ 」という誤答が見られた。			
① 1つ30円のおかしをx個買ったときの代金はy円。正答率 91% (30名)		・③では「 $x \times y = 30$ 」や「 $30 \div x = y$ 」といった誤答があった。			
② 縦の長さがxcm、横の長さが8cmの長方形の面積は ycm^2 。正答率 100% (33名)					
③ まわりの長さが30cmの長方形の縦の長さはxcmで、横の長さはycm。正答率 3% (1名)					

実態調査問題と正答率							実態調査の分析と考察
(3) 未習事項 面積が 24cm^2 の平行四辺形の、底辺の長さと高さの関係							・正答が約 3 割，誤答が約 7 割であり，高さが 24, 48, 72, 96, 120, 144 と比例関係にあると誤答している子が最も多く 42% (14 名)，24, 48, 96, 192, 384, 768 と単純に高さを 2 倍し続けていた子が 3% (1 名)，無解答 3% (1 名) などがいた。 ・反比例については多くの子にとっては頭になく，概念としては未習であるためであると推察される。 ・実際に平行四辺形の図をかかせるなどの操作活動を取り入れていくことで，問題場面がイメージでき，反比例の概念を理解ができると思われる。
底 辺 (cm)	1	2	3	4	5	6	
高さ (cm)							
正答率 <u>33% (11 名)</u>							

(3) 指導観

本単元では，比例を中心に，伴って変わる二つの数量関係を身の回りから取り上げ，その変化や対応の特徴に目を向けさせながら子どもの興味・関心を大切にしながら単元構成を行うことで，「問題解決的な学習」を展開し，「主体的な学び」を実現させたい。そこで，導入時に身の回りにある様々な事象の変化から伴って変わる二つの数量を取り上げ，その関係に着目させて，それらの数量の対応や変化の特徴を概観させる。この活動の中で，既習の比例関係を想起させたり比例以外の関係もありそうだと興味をもたせたりすることで，伴って変わる二つの数量がどんな関係にあるのかを見分けられるようになるようと呼びかけ，単元の課題へとつなげていく。そして，単元末には，子ども自身に，身の回りから伴って変わる二つの数量関係を多数取り上げさせ，比例，反比例，どちらでもないなどの関係を，その変化や対応の特徴からの確に判断することができるようにさせたい。また，単元を通して，解決過程を振り返る場（算数日記を書く場面）を設定することで，自己の成長に気付かせていきたい。

〔授業の前に〕

☐ 本時（本単元等）を通して，資質・能力が育成された児童の具体的な姿を，観点別の目標に基づいて描いている。

① 本単元において育てたい資質・能力を明確にする。

比例や反比例の意味や性質を理解し，比例や反比例の関係を，式や表，グラフに表したり数の変わり方や関係に着目して比例や反比例する事象について考えたり，比例関係を利用して問題を解決したりことができるようにするために，ノートや掲示物等で振り返り，活用できるようにしておく。

身の回りの伴って変わる 2 つの数量が比例や反比例の関係にあるかを進んで調べようとしたり，また，比例の関係を利用して身の回りの問題を解決しようとしたりするために，ICT を活用し，反比例の導入を 2 時間に分け，反比例という事象は一方が減少するともう一方も減少する事象のうち，きまりのある特殊なものであることに気付かせる。そして，次時に比例と比較しながら反比例の事象を考察していく。

〔見出す〕

☐ 既習の内容や方法を振り返る場面を設定する。

② 本時において，活用する既習事項を振り返る。

第 4 学年や第 5 学年で学習した伴って変わる 2 つの数量について，関数的な見方の基礎・基本なることがらである「一方が 2 倍，3 倍，…になると，もう一方も 2 倍，3 倍，…になり，そのような関係を比例する」ということ，関数的な見方・考え方を実際の問題解決の場に生かした既習の経験を想起させる。このように 2 つの数量の依存関係に着目させ，それらの数量の対応や変化の特徴を概観させるようにする。本時でも，これまでに学習した比例との違いをとらえさせ，比例とは違うが，きまりがありそうだと気付かせるようにしたい。また児童の実態として，一方の数が増えると他方の数が減るという見方が育っていないことから，一方が増えると他方が減るという事象の中に反比例という概念が存在することに気付かせていきたい。

〔広げ深める〕

☐ 児童が多様な考えを理解できるように，互いに学び合う場面を設定する。

③ 学び合いができる場면을意図的に設ける。

相談タイムや意図的指名によって，仲間の多様な考え方に触れ，理解を深められるようにする。

本時では、比例の学習と同様に、表を横に見ることで反比例の定義を、縦に見ることで反比例の性質を導き出していく。仲間の考え方に触れることで、多面的な見方を学ぶことができると考える。

〔まとめあげる〕

□「深い学び」につながる本時（本単元等）のまとめを、児童の言葉で予想し、準備する。

④児童のまとめや算数日記の言葉を想定しておく。

- ・表を縦に見たり、横に見たりすればいいね。
- ・「一方が 2 倍、3 倍、…になると、もう一方は $1/2$ 倍、 $1/3$ 倍、…になる」ことを反比例ということがわかった。
- ・「反比例する 2 つの量 x 、 y では、対応する値の積が決まった数になり、 x の値 $\times$ y の値 = 決まった数」になる。

また、算数日記（振り返り）で以下の言葉が出てきたら、本時もしくは次時で取り上げる。

- ・2 つの量が反比例しているのかしていないのかを調べてみたい。
- ・今日学習した表を縦に見たり横に見たりする考え方を使って、反比例するかどうか調べられそう。
- ・他にも反比例しているものに何があるか知りたい。

そして、本時で子どもたちから出てくることが予想される表を縦に見たり、横に見たりするという見方・考え方が比例の時と共通していることであることに気付かせる。

3. 単元の目標

- 【知識・技能】** 比例や反比例の意味や性質を理解し、比例や反比例の関係を、式や表、グラフに表すことができる。
- 【思考・判断・表現】** 数量の変わり方や関係に着目して比例や反比例する事象について考えたり、比例関係を利用して問題を解決したりすることができる。
- 【主体的に取り組む態度】** 身の回りの伴って変わる 2 つの数量が比例や反比例の関係にあるかを進んで調べようとしたり、また、比例の関係をを利用して身の回りの問題を解決しようとしたりする。

4. 全体計画（18 時間扱い）

小単元	時	◎本時の目標 ・活動内容 【評価】（方法）	指導形態
課題設定	1	◎いろいろな伴って変わる 2 つの数量の関係を調べることを通して、単元の課題をつかむ。 ◎比例する 2 量の変化を詳しく調べ、比例の意味について理解することができる。 ・身の回りの事象について、伴って変わる 2 つの量を見つけ、それらの関係を調べる。 ・時間と水の深さがどのように変化していくかを考える。 ・比例の定義を知る。 【態】変わり方の違いに気付き、関心をもって伴って変わる 2 つの数量の関係を調べようとしている。（発言・観察） 【知】表を横に見て x と y の変わり方を順や逆にとらえ、比例を理解している。（発言・ノート）	一斉 個別 ペア
比例	2	◎比例する 2 量の関係を調べ、2 量の比が一定であることを理解する。 ・「比例の性質として、商が一定」ということを知る。 【知】表を縦に見て x と y の比が一定であることを理解している。（発言・ノート）	一斉 個別 ペア
	3	◎伴って変わる 2 つの数量が比例しているかどうかを判断し、そのわけを説明することができる。 ・針金の長さや重さの関係を表した表を縦や横に見て、比例しているかどうかを考える。 【思】比例の定義や性質をもとに、伴って変わる 2 つの数量が比例しているかどうかを考えたり説明したりしている。（発言・ノート）	一斉 個別 ペア
	4	◎比例する 2 量の関係を式に表すことができる。 ・比例する 2 つの量の関係を、一方を x 、他方を y として、式で表す。 【知】決まった数を求め、比例する 2 量の関係を式に表すことができる。（発言・ノート）	一斉 個別 ペア
	5	◎比例の式をもとにグラフをかき、その特徴を理解する。 ・比例の関係をグラフに表すことを考え、かき方と特徴を理解する。 【知】比例の式から対応する x と y の値の組を求め、グラフに表すことができる。（観察・ノート）	一斉 個別 ペア
	6	◎比例する 2 量の関係を、式に表したりグラフに表したりすることができ	一斉

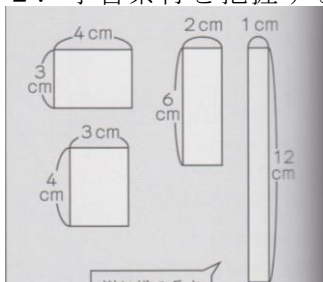
		る。 ・比例する 2 つの数量関係を、式やグラフに表す。 【態】比例のグラフの特徴をいかして、比例の式からグラフに表そうとしている。(観察・ノート)	個別 ペア
	7	◎比例のグラフをよみとることができる。 ・グラフを見て、比例しているかどうかを判断したり、数値をよんだりする。 【知】グラフの特徴をとらえて、2 量が比例していることや値の対応を読み取ることができる。(発言・ノート)	一斉 個別 ペア
	8	◎伴って変わる 2 量を見つけ、表、グラフ、式を使って変化や関係をとらえ、比例しているかどうかを判断することができる。 ・底面積 2 cm^2 の直方体の高さと体積の関係を、表、グラフ、式を使って調べる。 【思】伴って変わる 2 量の変化や関係を、表、式、グラフを使って考察し、比例しているかどうかを判断したり説明したりしている。(発言・ノート)	一斉 個別 ペア
	9	◎学習内容を確実に身に付けることができる。 ・練習問題を解く。 【知】既習事項を生かして問題を解くことができたか。(ノート)	個別
比例を使 って	10	◎比例関係を利用して、工夫して全体のおよその数を求めることができる。 ・ベニヤ板のおよその枚数を、厚さは枚数に比例することから計算で求める。 【思】枚数などを調べるときに、比例関係に着目すると手際よく調べられることに気付いている。(発言・ノート)	一斉 個別 ペア
	11	◎2 本のグラフから、いろいろな事柄を読み取ることができる。 ・2 人が 3 km の道のりを走ったときの時間と道のりの関係を表す 2 本のグラフについて考察する。 【思】変わり方の違いや対応する値の差に着目し、2 本の比例のグラフからどんなことがわかるかを考えたり説明したりしている。 (発言・ノート)	一斉 個別 ペア
反比例 (本時)	12	◎伴って変わる 2 つの数量の一方が増えると他方が減る場合の事象について調べ、反比例の事象は他の事象とは異なることに気付くことができる。 ・4 つの事象の共通点や相違点を考察する。 ・面積が 12 cm^2 の長方形をかく。 【思】一方が増えると他方が減るという事象があることを知り、反比例の事象が他の 3 つの事象とは異なることに気付いている。 (発言・ノート)	一斉 個別 ペア
	13	◎反比例する 2 量の変化や関係を調べ、反比例の意味や性質を理解する。 ・縦と横の長さがどのように変化していくかを考察する。 ・反比例の定義と性質を知る。 【知】表を縦や横に見て x と y の積が一定であることや一方が 2 倍、3 倍、…になると他方は $1/2$ 倍、$1/3$ 倍、…となることを理解している。(発言・ノート)	一斉 個別 ペア
	14	◎伴って変わる 2 つの数量が反比例しているかどうかを判断し、そのわけを説明することができる。 ・速さと時間の関係を表す表を縦や横に見て、反比例しているかどうかを考える。 【思】反比例の定義や性質をもとに、伴って変わる 2 つの数量が反比例しているかどうかを考えたり説明したりしている。(ノート・発言)	一斉 個別 ペア
	15	◎反比例する 2 量の関係を式に表すことができる。 ・反比例する 2 つの量の関係を、一方を x、他方を y として、式で表す。 【知】決まった数を求め、反比例する 2 量の関係を式に表すことができる。 (発言・ノート)	一斉 個別 ペア

	16	◎反比例の式をもとにグラフをかき、その特徴を理解する。 ・反比例の関係をグラフに表し、反比例のグラフの特徴を理解する。 【知】反比例の式から対応する x と y の値の組を求め、グラフに表すことができる。(観察・ノート)	一斉 個別 ペア
練習	17	◎学習内容を確実に身に付ける。 ・練習問題を解く。 【知】既習事項を生かして問題を解くことができたか。(ノート)	個別
まとめ 学びの	18	◎学習内容の理解を確認する。 ・練習問題を解く。 【考】【知】既習事項を生かして問題を解くことができたか。(ノート)	個別

5. 本時の指導 (13 / 18)

(1) 目標 【知】表を縦や横に見て $y=決まった数 \times x$ であることや一方が2倍、3倍、…、になると他方は $1/2$ 倍、 $1/3$ 倍、…となることを理解している。

(2) 展開

学習過程 (時配)	学習活動と内容 ◎主発問等・予想される子どもの反応	○留意点 ☆評価 (方法)	資料										
見出す (10分)	1. 本時にかかわる内容の復習をする。 比例の事象で、長方形の横の長さと同面積の関係を調べる。 ◎長方形の面積はどうやって求めますか。 ・縦×横＝長方形の面積です。 ◎表からどんなことがわかりますか。 ・表を横に見ると、面積は横の長さに比例することがわかります。 ・表を縦に見て、横の長さを x、面積を y とすると、$y=12\times x$ になります。 ・面積を求める式からも、面積は、横の長さに比例していることがわかります。 <table><tr><td>横 $x(\text{cm})$</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>面積 $y(\text{cm}^2)$</td><td>12</td><td>24</td><td>36</td><td>48</td></tr></table> ◎比例の時はどんなグラフになりましたか。 ・原点を必ず通りました。 ・一直線になりました。 2. 学習素材を把握する。  ◎どんな長方形がありましたか。 ・縦 5cm, 横 2.4cm の長方形 ・縦 4cm, 横 3cm の長方形	横 $x(\text{cm})$	1	2	3	4	面積 $y(\text{cm}^2)$	12	24	36	48	○縦 12cm の長方形で比例する 2 量 (横の長さと同面積) を示した表を左側から徐々に提示する。 ○板書をしながら、比例のグラフで読み取ったことを確認する。 ○表を横に見ると、一方が 2 倍, 3 倍, … になるともう一方も 2 倍, 3 倍になること, 表を縦に見ると, $y=\text{決まった数}\times x$ になることを確認する。 ○学習素材を提示する。 ○どんな長方形ができたか発問し、拡大した長方形を黒板に貼っていく。 ○子どもたちから出たアイデアをもとに、作った長方形をあてばらに並べ、「整理したい!」「順番に並べたい!」という思いを喚起させる。	比例の事象の表を拡大した物 比例のグラフを拡大したもの 拡大した長方形
横 $x(\text{cm})$	1	2	3	4									
面積 $y(\text{cm}^2)$	12	24	36	48									

	・縦 3cm, 横 4cm の長方形 ・縦 2cm, 横 6cm の長方形 ・縦 12cm, 横 1cm の長方形など ◎共通することは何ですか。 ・縦と横の長さが変わっていることです。 ・面積が 12cm² で同じです。 3. 本時の学習問題を設定する。	○辺の長さが異なる長方形を示しながら, 辺の縦と横の長さが変化していることに気付かせる。													
	面積が一定な長方形の縦と横の長さには, どのような関係があるのだろう。														
自分で取り組み (5 分)	4. 見通しをもたせる。 ◎どうしたら縦と横の長さの関係が見つけられますか。 ・表にまとめると関係が見やすくなりそうです。	○机間指導を行いながら, 指名計画を立てる。 ○縦の長さが 5cm の部分は表から抜いておき, 子どもに気付かせるようにする。	縦の長さ と横の長さ の関係を 表で表す												
	<table><tr><td>縦の長さ(cm)</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>横の長さ(cm)</td><td>12</td><td>6</td><td>4</td><td>3</td><td>2.4</td><td>2</td></tr></table> ・表を横に見たり, 縦に見たりすれば長方形の縦と横の長さの関係がわかりそう。	縦の長さ(cm)		1	2	3	4	5	6	横の長さ(cm)	12	6	4	3	2.4
縦の長さ(cm)	1	2	3	4	5	6									
横の長さ(cm)	12	6	4	3	2.4	2									
広げ深める (20 分)	6. 表から見つけたことについて話し合う。 相談タイム ペアで表から見つけたことを話し合う。(2分) ◎表からどんなことが見つかりましたか。 ①表を横に見ると, 縦の長さが 2 倍, 3 倍, …になると, 横の長さは 1/2 倍, 1/3 倍, …になります。 ②表を縦に見ると, 縦と横の長さの積は, いつも 12 になります。 ・縦×横=面積 (x×y=12) で, 面積の 12 が決まった数で変わらないです。 ・12 は横の長さが 1 の時の縦の長さです。	○ノートを交換し, 説明し合う。 ○比例の場合と対比して考察させる。 ○縦の長さが 2 倍や 3 倍, …になると, 横の長さは 1/2 倍や 1/3 倍, …になることを, 表の中から複数見つけさせるようにする。 ○話し合いが停滞しているグループには, 表を縦, 横に見て比例のときと比較して考察するように助言する。													
	7. 全体で表から見つけたことや比例と比較し, 考察する。 ◎比例とのちがいは何ですか。 ・比例は一方が 2 倍, 3 倍, …と, もう一方も 2 倍, 3 倍, …になるけど, 反比例は一方が 2 倍, 3 倍…になるともう一方は 1/2 倍, 1/3 倍, …, になります。 ・表を縦に見ると, 比例のときは y=決まった数×x だったけど, 反比例は y=決まった数÷x になります。	○12 は決まった数で, x の値が 1 の時の y の値といえることをおさえる。 ○表を縦や横に見たとき, なぜ①や②のことが言えるのか児童が理由を話せるように補助発問をする。 ○比例とのちがいをおさえる。 ○表を横に見る見方も確認し, 「反比例」という用語をおさえる。 ○反比例の定義が「ともなって													

まとめあげる (10分)	9. 拡大した長方形を並べ替える。 表を見ながら長方形を並べてみよう。 きれいに並んでいるね。 もしかしてグラフは曲線になるのかな。	変わる2つの量 x, y があって、x の値が2倍、3倍、…になると、y の値が $1/2$ 倍、$1/3$ 倍、…になるとき、y は x に反比例するという」であることをおさえる。 ○比例のグラフとの比較をし、相違点を考察する。 ○表と重ねて並べる長方形は縦の位置を揃えて見えるように板書の位置を工夫する。 ○大型モニターで反比例を表す曲線を映し出す。	拡大した長方形	
	10. まとめをする。 長方形の縦と横の関係は、 ①一方が2倍、3倍、…になると、もう一方が $1/2$ 倍、$1/3$ 倍、…になる（反比例という）。 ②反比例する2つの量 x, y では、 $y = \boxed{\text{決まった数}} \div x$ になる。			
	11. 適用題を解く。 面積が 24cm^2 の長方形だったら、縦と横の長さはどうような関係になりますか。	○学習したことを使って解くように助言する。 ☆表を縦や横に見て $y = \text{決まった数} \div x$ であることや、一方が2倍、3倍、…になると他方は $1/2$ 倍、$1/3$ 倍、…となることを理解しているか。（観察・ノート）		
12. 算数日記を書く。 ・2つの量が反比例しているのかしていないのかを調べてみたい。 ・今日学習した表を縦に見たり横に見たりする考え方を使って、反比例するかどうか調べられそう。 ・他にも反比例しているものに何があるか知りたい。	○わかったことなどをノートにかかせる。 ○時間があれば、算数日記の内容を数名取り上げ、紹介する。			